

WIDE Technical-Report in 2014

2013年12月研究会および2014年
春合宿研究会報告 (概要)
wide-tr-camp-1403-summary-00.pdf



WIDE Project : <http://www.wide.ad.jp/>

*If you have any comments on WIDE documents, please contact to
board@wide.ad.jp*

Title: 2013年12月研究会および2014年春合宿研究会報告(概要)
Author(s): camp-1403プログラム委員会, camp-1403ネットワークプログラム委員会
Date: 2014-12-05

2013年12月研究会および2014年春合宿研究会報告(概要)

camp-1403 プログラム委員会 camp-1403 ネットワークプログラム委員会

表 1: 12月研究会招待講演一覧

講演タイトル	講師
インターネット安全運転への道	門林 雄基 (奈良先端科学技術大学院大学)
IPv6 とセキュリティ	北村 浩 (NEC)
サイバーセキュリティ研究の最前線 – NICTER とそのスピンオフ技術たち –	井上 大介 (情報通信研究機構)
暗号技術の標準化活動にまつわる色々な話	菅野 哲 (NTT ソフトウェア)
任意のデータが鍵になる「ID ベース暗号」の可能性、あるいは Rivest と一緒に餅をついた話	金岡 晃 (東邦大学)

本文書では 2013 年 12 月 13 日と 14 日に東京大学駒場キャンパスで開催された 2013 年 12 月研究会および 2014 年 3 月 10 日から 13 日にかけて静岡県浜名湖ロイヤルホテルで開催された 2014 年春合宿研究会の内容を報告する。

1 12月研究会

12 月研究会は「セキュリティ」をテーマに掲げ、5 件の招待講演、パネルディスカッション、1 件の研究発表、8 件のポスター発表を実施した。開催された BoF は 5 件であった。表 1 に招待講演一覧を示す。

2 春合宿研究会プログラム

合宿研究会では「WIDE 棚卸し」をテーマに掲げ、メンバーの研究課題を共有するとともに、WIDE の強みと WIDE 外での活動を結びつける試みとして、クラウド制御や PaaS の専門家を招待し、WIDE の研究との連携を目指した。さらには 2015 年に開催が決定している横浜 IETF に向け、IETF のホットトピックを取り上げるとともに、標準化活動で活躍している方々

表 2: 合宿研究会プレナリープログラム一覧

クラウドコントローラ三つ巴	
OpenStack	元木 顕弘 (NEC)
”	齊藤 秀喜 (IIJ)
CloudStack	波多野 敏明 (NTT Com)
IIJ GIO	阿部 博 (IIJ)
”	花高 信哉 (IIJ)
PaaS よりどりみどり	
Mogok	阿部 博 (IIJ)
Heroku	相澤 歩 (Heroku)
Sqale	柴田 博志 (paperboy&co.)
IETF Upper Layers	
HTTP/2	林 達也 (レビダム)
Multipath TCP	中島 博敬 (慶応義塾大学)
標準化四方山話	
IETF	村本 衛一 (パナソニック)
”	松平 直樹 (富士通)
ETSI	塚田 学 (東京大学)

表 3: 合宿研究会招待講演一覧

タイトル	講師
メディアネットワークの未来	金子 晋丈 (慶應義塾大学)
Passive DNS Collection and Analysis – The ‘dnstap’ Approach	Paul Vixie (Farsight Security, Inc)

と意見交換しつつ、標準化への取り組みを考える場を設けた。表 2 にプレナリープログラムの一覧を示す。

WIDE 棚卸しでの発表者が 37 件、ポスター発表が 16 件、ワークショップ 3 件に加え、14 件の BoF を開催した。また、2 件の招待講演を実施した。表 3 に招待講演一覧を示す。

3 春合宿研究会ネットワーク

合宿 Net PC は、合宿地におけるインターネット到達性及び合宿地でネットワーク実験を行うための仮想テストベッド環境の提供を目的として、合宿地ネットワークの構築・運用を行った。今回の合宿では、2013

モ (メンバー限定) を参照していただきたい。

表 4: 合宿研究会実験一覧

タイトル	代表
新しい無線メッシュネットワークのベンチマーク	妙中 雄三 (東京大学)
無線ネットワーク状態の可視化実験	北口 善明 (金沢大学)
無線 LAN インフラによるクライアント位置情報取得実験	藤枝 俊輔 (東京大学)
自作ソフトウェアルーター	浅井 大史 (東京大学)
IPv6 実験	樋山 寛章 (奈良先端科学技術大学院大学)
赤外線マルチホップ通信	大筒 裕之 (東京大学)

年 12 月研究会の流れを汲み、「セキュリティと SDN」を合宿ネットワークテーマに掲げ、オープンソースの IDS である Snort や脆弱性スキャナの Nessus、複数の Firewall を利用して堅牢なネットワーク構築を目指した。合宿参加者が利用する生活線セグメントは前回に引き続き IPv6 only network として構築し、IPv4 Internet への到達性は nat64 変換により確保した。また、実験者が実験を行うための実験線セグメントでは、実験者の要望に応じて各種 network を構築し提供した。

今回の合宿では表 4 に示す 6 件の実験が行われた。

4 まとめ

2013 年 12 月研究会では、セキュリティと IETF を軸に、専門家による最新セキュリティ動向の紹介と 2015 年 IETF 横浜に向けたプログラムを構成した。また、2014 年春合宿研究会では、IETF に向けた活動を引き継ぐ形で IETF で活躍してきた先人の経験を共有するプレナリを開催した。さらに、WIDE プロジェクトが苦手とする上位層アプリケーション分野の活動として IaaS、PaaS、トランスポート層プロトコルのプレナリを企画し、専門家による解説とパネルディスカッションを通じて下位層技術者と上位層技術者の理解を深め、今後の研究に結びつけるための糧とした。実験では、これまで継続して活動してきた項目に加え、12 月研究会の流れを引き継いだオープンソース技術を活用したセキュリティと SDN 実験を実施した。また、全体のテーマとして棚卸しを掲げ、合宿参加者がそれぞれ持っている技術や知識を一堂に会し、さらなる研究開発の発展を進める場として運営した。

合宿プログラムのより詳細な報告は WIDE 内部メ